

令和5年度 学校図書館基本計画・評価シート

足立区立江北小学校 校長 武智 勇喜

1 学校教育目標

『かしこく やさしく しなやかな 江北の子』(知徳体の涵養)

人権尊重の精神を基調として、様々な価値・状況の中において「共に生きる」ことを念頭に置き、一人一人の児童に意欲と自信をもたせる教育を推進する。更に社会貢献できる心身ともに健康で知・徳・体のバランスの取れた教育を提供していくことで自ら考え正しく判断し、社会の変化に柔軟に対応して生きる児童の育成を目指す。

2 学校図書館の目標・ねらい 一身に付けさせたい資質・能力、意欲・態度一

1. 進んで本を読む子 本の楽しさを知り、日常的に本に親しむ態度を養う。
2. 進んで学校図書館を利用できる子 学習課題に応じた情報源として、図書資料を活用し課題解決する能力を伸ばす。

3 学校図書館の現状(令和4年度末)

蔵書状況	① 蔵書数 15463 冊 (蔵書基準冊数 11360 冊) / 蔵書率 136.1 %									
	② 新規購入図書 965 冊 / 廃棄図書 3623 冊 / 増減冊数 -2658 冊									
分類	総記0類	哲学1類	歴史2類	社会3類	自然4類	技術5類	産業6類	芸術7類	言語8類	文学9類
蔵書構成割合	2.5%	1.0%	5.9%	6.5%	13.6%	4.9%	2.3%	8.0%	2.8%	52.4%
*国基準	6%	3%	16%	10%	16%	6%	5%	8%	5%	25%
利活用の状況	① 開館時間： 9：15～16：00									
	② 児童一人あたりの年間平均貸出冊数 53.3 冊 (前年度末：25.8 冊)									
	③ 1か月に2冊以上読む児童 83.9% (前年度末：54.5%)									

(令和5年度末)

蔵書状況	① 蔵書数 16361 冊 (蔵書基準冊数 11360 冊) / 蔵書率 144.0 %									
	② 新規購入図書 922 冊 / 廃棄図書 495 冊 / 増減冊数 427 冊									
分類	総記0類	哲学1類	歴史2類	社会3類	自然4類	技術5類	産業6類	芸術7類	言語8類	文学9類
蔵書構成割合	4.37	1.69	9.29	11.16	24.01	7.71	4.80	13.23	4.39	82.96
*国基準	6%	3%	16%	10%	16%	6%	5%	8%	5%	25%
利活用の状況	① 開館時間： 8：45～15：30									
	② 児童一人あたりの年間平均貸出冊数 59.31 冊 (前年度末：53.3 冊)									
	③ 1か月に2冊以上読む児童 85% (前年度末：83.9%)									

4 目標達成に向けた今年度の重点指導事項・具体的取り組み

第1学年	① 読みやすい読み物に興味を持ち、楽しんで読書しようとする意欲を育てる。 ② 学校図書館の利用の仕方を知り、きまりを守って利用する態度を育てる。	
今年度の成果目標		達成基準
① 学校図書館を使う授業により、本を手にする機会を増やす。		① 各クラス週1回以上、読書や探究活動の授業を学校図書館で行う。
② 学校図書館の本を利用し、読書をする習慣を身に付ける。		② 朝読書や読書旬間を利用して年間一人あたり100冊以上の本を読む。
③ 学校図書館の利用の仕方について知る。		③ 調べる学習コンクールに参加する学年児童の割合が30%以上。
目標達成状況		
① 週1回の図書の時間は、学校図書館で本の貸し借りや読書活動を行うことができた。		
② 図書の時間以外だけでなく、休み時間にも図書館に行く児童が増え、多くの児童に読書をする習慣が身に付いた。		
③ 調べる学習コンクールに全員の児童が参加することができた。		

第2学年	① いろいろな読み物に興味を持ち、楽しんで読書しようとする意欲を育てる。 ② 学校図書館の利用の仕方を知り、きまりを守って利用しようとする態度を育てる。
今年度の成果目標	達成基準
① 自分の興味のある本を探して、読書することができる。 ② 図鑑や科学的な読み物について読書し、その内容を友達に伝えることができる。 ③ 学校図書館の利用の仕方を守りながら、読書をするすることができる。	① 各クラス週1回以上、読書や探究活動の授業を学校図書館で行う。 ② 朝読書や読書旬間を利用して、年間一人あたり100冊以上の本を読む。 ③ 調べる学習コンクールに参加する学年児童の割合が30%以上
目標達成状況	
① 国語の学習を通して、興味のある本を読むことができていた。 ② 内容を友達に伝える機会を作ること、取り組むことも難しかった。 ③ 図書館の利用の仕方を守って、読書ができた。本の返却まで確実に行わせた。	
第3学年	① 図書を活用して、調べ学習や物語を要約して紹介するなどの活動を通して、情報の処理・活用の力を育てる。 ② 定期的に書籍に親しむ時間を設けることを通して、進んで読書に取り組もうとする意欲を高める。
今年度の成果目標	達成基準
① 自分の求める情報を探し出し、内容を十分に理解した上で、適切にまとめて、表現することができる。 ② 朝読書や読書旬間を通して、自ら進んで、読書活動に取り組み、読書をする楽しさを味わうことができる。 ③ 学校図書館の利用の仕方を守りながら、読書をするすることができる。	① 各クラス月2回以上、読書や探究活動の授業を学校図書館で行う。 ② 朝読書や読書旬間を利用して、年間一人あたり70冊以上(1万ページ以上)の本を読む。 ③ 調べる学習コンクールに参加する学年児童の割合が50%以上
目標達成状況	
① 総合的な学習の時間において、図書館を活用して自分の求める情報を調べて整理し、発表に生かすことができた。 ② 国語の学習において、読書の楽しみ方や読みの視点を確認することで、朝読書や読書旬間でより読書活動を楽しむことができた。1万ページ以上の本を読んだ児童は学年で9人。 ③ 図書館の利用の仕方を守って読書をすることができた。学年児童の90%以上が調べる学習コンクールに参加した。	
第4学年	① いろいろな読み物に興味を持ち、幅広く読書しようとする意欲を育てる。 ② きまりを守り、学校図書館を進んで利用する態度を養い、多様な資料や情報を収集・活用することができるようにする。
今年度の成果目標	達成基準
① 自分の興味のある本だけでなく、今まで興味のなかった本についても読書することができる。 ② 辞典や図鑑等から分かったことをまとめ、説明することができる。 ③ 学校図書館の利用の仕方を守りながら、読書をするすることができる。	① 各クラス月2回以上、読書や探究活動の授業を学校図書館で行う。 ② 朝読書や読書旬間を利用して、年間一人あたり70冊以上(1万ページ以上)の本を読む。 ③ 調べる学習コンクールに参加する学年児童の割合が50%以上
目標達成状況	
① 国語の単元と関連させながら図書を行ったことで、作者が書いた別の本も手にする児童が増えた。 ② 総合的な学習の時間のまとめで図鑑を活用したことで、スライドや模造紙に分かったことをまとめることができた。 ③ 8割以上の児童はルールが守れていたが、無駄話をしないことや返却期限を守る等のルールが守れていなかったため、指導を継続していきたい。	
第5学年	① 適切な読み物を選び、読書を通して考えを広めたり深めたりしようとする意欲を育てる。 ② きまりを守り、学校図書館を進んで利用する態度を養い、計画的に資料や情報を収集し、適切に活用することができるようにする。

今年度の成果目標	達成基準
① 興味のある事柄について、適切な本や新聞等を選び、読書することができる。 ② 複数の本や新聞等から分かったことをまとめることができる。 ③ 学校図書館の利用の仕方について、より利用しやすい方法について考えることができる。	① 各クラス月3回以上、読書や探究活動の授業を学校図書館で行う。 ② 年間一人あたり60冊以上(1万ページ以上)の本を読む。 ③ 調べる学習コンクールに参加する学年児童の割合が75%以上

目標達成状況
① 総合的な学習の時間で学校図書館を使用した。月3回以上は難しかった。 ② 朝読書を毎日行ったが、60冊以上(1万ページ以上)達成者は1割未満だった。 ③ 調べる学習コンクールの参加は100%を達成できた。

第6学年	① 適切な読み物を選び、読書を通して考えを広めようとする態度を育てる。 ② 図書館利用のきまりを守り、進んで学校図書館を利用する態度を養う。 ③ 目的に応じた資料や情報を収集し、適切に活用することができる。
-------------	---

今年度の成果目標	達成基準
① 興味関心のある事柄について、適切な本を選び、読書することができる。 ② 複数の本や資料から分かったことをまとめたり、説明したりすることができる。 ③ 学校図書館をより利用しやすいように考えることができる。	① 各クラス月3回以上、読書や探究活動の授業を学校図書館も活用して行う。年間一人当たり60冊以上(1万ページ以上)の本を読む。 ③ 調べるコンクール参加児童の割合が75%以上。

目標達成状況
① 毎月2回以上図書の時間を活用し、図書館を使用し、読書を通して本に親しむことができた。 ② 複数の本を活用し、分かったことをまとめ、説明することはできたが、数回しかできなかった。 ③ 国語科と関連して本や作者の紹介文を作成したが、年間を通してもっと活動が必要であった。

5 学校図書館環境整備に関する取組計画・方針及び成果・効果

取組計画・方針	成果・効果
【蔵書・配架等に関すること】 ① 分類配当に配慮し、必要に応じて計画的に図書購入を行う。 ② 行事や季節、学習に合わせた配架や、学年に応じた使いやすい配架に努める。	① 分類配当に配慮して、計画的に購入できた。子ども達の読みたい本を購入できた。 ② 支援員さんの季節に合った装飾やおすすめの本により、使いやすい配架に努めることができた。
【学校図書館支援員との連携・協働】 定期的に連絡会を設け、配架や環境整備を計画的に実施できるように努める。	月に1回の連絡会議を実施できた。配架や整備も積極的に努めてもらった。
【その他】 休み時間の貸し出しを、週に4回行う。1回の貸し出し冊数は、3冊とする。	取り組み計画通りに実施できた。

6 学校図書館運営全体に関する自己評価（成果・課題・改善の方向性等）

・本校は、低学年の年間100冊読破、中・高学年の年間1万ページ読破を目標に、読書活動の推進に積極的に取り組み、100冊以上達成した児童が61人（R4年度は59人）、1万ページ以上達成児童は54人（R4年度は17人）と読書する児童が確実に増加し毎年記録を更新している。内3万ページを超えている児童が7人もいた。教室でも時間があれば本を手にする習慣をつけさせている。（学校長）

7 学校図書館の取り組みに対する評価・要望等（学校関係者から）

・年間100冊・1万ページ読破を目標に、図書館を有意義に活用し学校全体で読書活動に取り組んでいるようだ。本からはいろいろな力を得られることから、今後さらなる読書活動の推進に取り組んでほしい。本の寄贈を地域の町会等にも投げかけ、蔵書の充実を図りたい。（開かれた学校づくり協議会会長）